

## パラグアイ内政・外交報告（2020年12月分） 政治情勢

### 1 内政

#### （1）新型コロナウイルス感染症（COVID-19）関連

##### ア ワクチン接種に関する法律の改正

22日、ワクチン接種法の改正が発表された。今般の法改正は国民の新型コロナウイルスワクチン接種を目的とし、同法で義務的接種が定められている風疹などの予防接種に加え、新たに流行した感染症のワクチン確保に対しても予算を拡充することが可能となった。

##### イ 台湾による医療分野への支援

24日、医療機関の改善等を目的とする「厚生福祉省医療機関改善計画」の資金供与に係る署名式が実施された。また、台湾政府からは、総額250万ドル分の新型コロナウイルス対策用の医療物資の供与も発表された。

#### （2）汚職対策に関する国家計画の発表

9日、大統領府において、「清廉性・透明性・反汚職国家計画2021-2025（Plan Nacional de Integridad, Transparencia y Anticorrupción 2021-2025）」の実施が発表された。同計画は、汚職対策庁（SENAC）が中心となって策定したもので、透明性や清廉さの確保及び汚職対策を促進するため、パラグアイの様々な機関の取組を体系化するものである。同計画は、環境・社会研究センター（CEAMSO）を通じてアメリカから支援を受けており、同計画の承認に対しては、サラサール駐パラグアイ臨時代理大使も祝意を表明し、アメリカ政府はパラグアイの汚職対策への支援を継続すると述べた。

### 2 外交

#### （1）パラグアイ・ブラジル首脳会談の実施

1日、アブド・ベニテス大統領はブラジルのフォス・ド・イグアスを訪問し、ボルソナーロ伯大統領と会談した。両首脳は、プレシデンテ・フランコ市（パラグアイ）とフォス・ド・イグアス市（ブラジル）を結ぶ新たな橋のブラジル側の工事拠点を視察し、現在40%以上進んでいる工事の詳細について確認した。新たな橋の建設により、パラグアイ・ブラジル・アルゼンチン3国の国境地帯の経済活性化が期待される。

#### （2）ゴンサレス外務大臣の国連総会特別会合出席

ゴンサレス外務大臣は、3日から4日にかけて開催された国連総会特別会合（オンライン形式）に出席した。同会合のテーマは新型コロナウイルス対策であり、ゴンサレス外務大臣は、コロナ禍からの回復は、健康及び安全を中心とする人々の福祉を考慮し、人道的な観点から取り扱われなければならないと述べ、また、国際金融機関に対し、発展途上国の脆弱性を考慮に入れ、経済回復

を促進するよう呼びかけた。また、ワクチンへのアクセスは平等に保障されるべきとし、ワクチン及び医薬品の供給のための国際的な取組を呼びかけた。

#### (3) ベネズエラ議会選挙に関する声明

7日、外務省は、リマグループを含むベネズエラの民主主義回復を支援する諸国（※）の一員として、6日に実施されたベネズエラ議会選挙に関する共同声明に署名したと発表した。同声明では、議会選挙は自由で安全及び透明性が確保された民主的プロセスのほか、投票の完全性、あらゆる政治アクターの参加及び国際的監視の最低限の保証なしに実施されたもので、合法性及び正当性に欠けると非難した。また、全てのベネズエラのアクターが、政治的イデオロギーや所属政党に関わらず、自由かつ公正で信頼できる大統領及び議会選挙を早急に実施し、平和的且つ憲法上の解決を模索するために行動するよう呼びかけた。（※共同宣言署名国：ブラジル、カナダ、チリ、コロンビア、コスタリカ、エクアドル、エルサルバドル、グアテマラ、ガイアナ、ハイチ、ホンジュラス、パナマ、パラグアイ、ペルー、ドミニカ共和国、セントルシア）

#### (4) ゴンサレス外務大臣のPROSUR外相会合出席

7日、ゴンサレス外務大臣は、オンライン形式で開催されたPROSUR外相会合に出席した。会合では、コロナ禍におけるPROSURの重要性、PROSURの成果や将来に向けた課題について協議された。ゴンサレス外務大臣は、コロナウイルス流行に対処するためのワーキンググループ会合など、PROSURの取り組みの重要性を強調したほか、民主主義を重視する国の一つとして、パラグアイは6日に実施されたベネズエラ議会選挙の結果を拒否すると改めて表明した。

#### (5) アブド・ベニテス大統領のPROSUR首脳会合出席

12日、アブド・ベニテス大統領は、PROSUR首脳会合（オンライン形式）に出席した。アブド・ベニテス大統領は、地域統合プロセスはイデオロギーではなく道理によって行われるべきであると最近の歴史が示していると述べ、PROSURにまだ参加していない国々に対し、民主主義と多様な考え方を尊重するという観点から、PROSURに参加するよう呼びかけた。コロナウイルスワクチンに関しては、ワクチンの平等なアクセスの確保を呼びかけた。また、越境組織犯罪に対するPROSURの取組を評価した。

#### (6) ゴンサレス外務大臣のEU・ラテンアメリカ非公式外相会合出席

14日、ゴンサレス外務大臣は、EU・ラテンアメリカ非公式外相会合（オンライン形式）に出席した。同会合は、欧州理事会のイニシアティブによるもので、新型コロナウイルス対策、環境問題、デジタル問題に関する両地域の経験やグッドプラクティスが共有された。ゴンサレス外相は、パラグアイにおけるコロナ対策について、流行の初期段階から、教育、文化、経済、貿易、保健といった分野において様々な取組を行ってきており、また、ワクチンは公共財として平等なアクセスが確保されるべきであると述べた。さらに、パラグアイは経済回復のための取組を行っており、EUの様々な協力に感謝していると述べ、両地域の発展のためのさらなる連携のため、EU・メルコスールFTAの早期批准を求め

た。

(7) アブド・ベニテス大統領の第57回メルコスール首脳会合出席

16日、アブド・ベニテス大統領は、ビデオ会議形式にて開催された第57回メルコスール首脳会合に出席した。会議では、今年度の後期議長国を務めるウルグアイのラカジェ・ポウ大統領から後期の活動報告が行われ、続いて加盟国首脳間の協議が行われた。アブド・ベニテス大統領は、パラグアイは地域統合を深め、促すような課題を前に進めるべく、懸命に取り組み続けることを改めて約束すると述べた。また、新型コロナウイルスという危機を乗り越えるため、引き続き連携する必要があると述べた。

(8) 台湾による先住民向け住宅建設支援

21日、外務省において、「パラグアイ先住民のための住宅1000戸建設計画」の費用供与に係る署名式が行われた。同計画の総額は1819万9142ドルであり、今般の署名式では、1回目の資金供与として511万6529ドルを供与する旨の文書が署名された。

### 3 要人往来

往訪：アブド・ベニテス大統領（ブラジル）

来訪：なし